



令和8年度 小学部入学式



4月10日(金)の9:10から、小学部の入学式を行いました。3月の卒業式以降、少し寂しく感じる校内でしたが、入学式で33人のピカピカの1年生を迎え、活気が戻って来たようです。校長の式辞では、①元気なあいさつをすること、②自分でやってみること、③ベルギーのいいところを見つけること、この3つの「頑張ってもらいたいこと」を伝えました。週明けからは授業もスタートします。元気いっぱい頑張ってもらいたいです。



令和8年度 中学部入学式



小学部に引き続き、中学部の入学式を行いました。新入生は19名で、その多くは3月にJSBの小学部を卒業しています。新たなメンバーを加えて、フレッシュな気持ちで充実した中学校生活を送ってほしいと思います。校長の式辞では、人間としての幅の広さをもつとい



う願いを込めて、「富士山の様な人」を目指そうと伝えました。

令和8年度 着任式・第1学期始業式



《着任式》

3月には、6名の教員が日本へ帰国しましたが、この度、新たに5名の教員が赴任してまいりました。今年度は、北は石川県から南は沖縄県まで、西日本の各地から派遣されてきました。それぞれに個性も豊かで、音楽に造詣が深い、フルマラソンで4時間を切る、阿波踊りやカチャーシの踊り手、熊の研究者 など、子ども達も興味をもってくれそうな話題も満載です。どうぞよろしくお祈りします。

《始業式》

着任式に引き続き、1学期の始業式を行いました。校長の式辞で子ども達に伝えた内容は、「学校だより 第1号」でお伝えしましたが、その後、小学部と中学部からそれぞれの代表1名が、今年の抱負を発表してくれました。



決意発表→

←自己紹介



《転入生の自己紹介》

始業式の後、新たに JSB のメンバーとなった人たちに自己紹介をしてもらいました。今回の自己紹介では、小学部の低学年、愛知県からの転入者がそれぞれ多かったです。みんな仲良くしていきましょう。これからよろしくお祈りします。

《 校長のつぶやき 》

昨年度に引き続き、JSBの校長を務めます杉本です。今年度もどうぞよろしくお祈りいたします。

赴任から1年が経ちました。夏の極端に長い日照時間や、冬の暗い朝の登校風景など、日本とは異なるベルギー特有の環境を一通り経験いたしました。こうした四季のサイクルを体感したことで、本年度はより確かな見通しを持って学校経営に邁進していく所存です。

さて、春を迎えたブリュッセルでは今、桜が満開です。JSBの敷地内でも、天皇陛下が植樹された由緒ある白い桜や、鮮やかなピンク色が美しい八重桜など、多くの木々が競うように咲き誇っています。

その一方で、グラウンド奥のフェンス際に、ひっそりと白い花を咲かせる



一本の小さな桜があります。幹の太さは1センチにも満たず、おそらくどこからか運ばれてきた種が自生したのでしょう。誰に気づかれることもなく咲くその姿も、よく見れば他の桜に劣らず可憐で美しいものです。



この小さな桜を眺めていると、十数年前に話題となった渡辺和子さんの著書『置かれた場所で咲きなさい』を思い出します。環境に不平を言うのではなく、与えられた場所を受け入れ、そこでいかに幸せを見出していくか——。フェンス際に懸命に花を咲かせるこの桜のように、「置かれた場所で咲く」ことの大切さを、子どもたちだけでなく、私たち大人も、そして私自身も心に刻みながら、日々を歩んでいきたいと感じています。